

みどりの風を感じる大阪を目指して—

みどりの大阪 推進計画

平成21年12月

大阪府

目 次

はじめに	1
(1) 本計画の位置づけ	
(2) 対象とするみどり	
第1章 みどりの風を感じる大阪を目指して	
1. 計画策定の背景と意義	2
(1) みどりの現況	
(2) みどりに対する府民の声	
(3) みどりを取り巻く課題と対応	
2. みどりの風を感じる大阪 将来像	6
(1) みどりの風を感じる大阪 将来像	
(2) みどりのネットワーク図と配置方針	
(3) 計画期間と目標、指標	
(4) 計画の点検と見直し	
3. みどりの効果の活用と役割分担	9
(1) みどりが持つ多様な効果の活用	
(2) 府・市町村・府民・NPO・企業などの役割分担	
第2章 みどりの大阪 実現戦略	
1. みどりの大阪 4つの基本戦略	11
2. 基本戦略—1 みどり豊かな自然環境の保全・再生	13
◇ 周辺山系・農空間のみどりの保全・再生	
◇ 臨海部のみどりの保全・再生	
3. 基本戦略—2 みどりの風を感じるネットワークの形成	15
◇ 主要道路を主軸としたみどりのネットワークの形成	
◇ 主要河川を主軸としたみどりのネットワークの形成	
◇ 大規模公園緑地を拠点としたみどりのネットワークの形成	
4. 基本戦略—3 街の中に多様なみどりを創出	19
○ 公共施設（府有施設）の緑化の推進	
○ 公共施設（市町村施設等）との連携	
○ 民有地等のみどりの保全・創出	
5. 基本戦略—4 みどりの行動の促進	21
○ みどりづくりを通じた地域力再生の推進	
○ 府民、NPO、企業等との連携推進	
○ みどりの人づくり・組織づくり	
地域別のみどりの将来像	24
(1) 大阪市地域	
(2) 北大阪地域	
(3) 東大阪地域	
(4) 南河内地域	
(5) 泉州地域	

(1) 本計画の位置づけ

- ◆「将来ビジョン・大阪」の「みどりの風を感じる大都市 オンリー1」の実現プランです。
- ◆大阪府自然環境保全条例に基づく自然環境の保全等に関する施策の推進方向を体系的に示すとともに、多様性のある豊かな緑の創出に関する基本的な計画として策定するものです。
- ◆広域的観点からみどりの確保目標や配置計画及びみどりづくりの方策などを示し、今後の府におけるみどりづくりの推進施策の方向を明らかにするものです。
- ◆都市計画法に基づく都市計画区域マスタープランに反映し、都市緑地法に基づく市町村が策定する「緑の基本計画」の指針となるものです。

(2) 対象とするみどり

本計画における用語とその定義について、以下のように定義します。

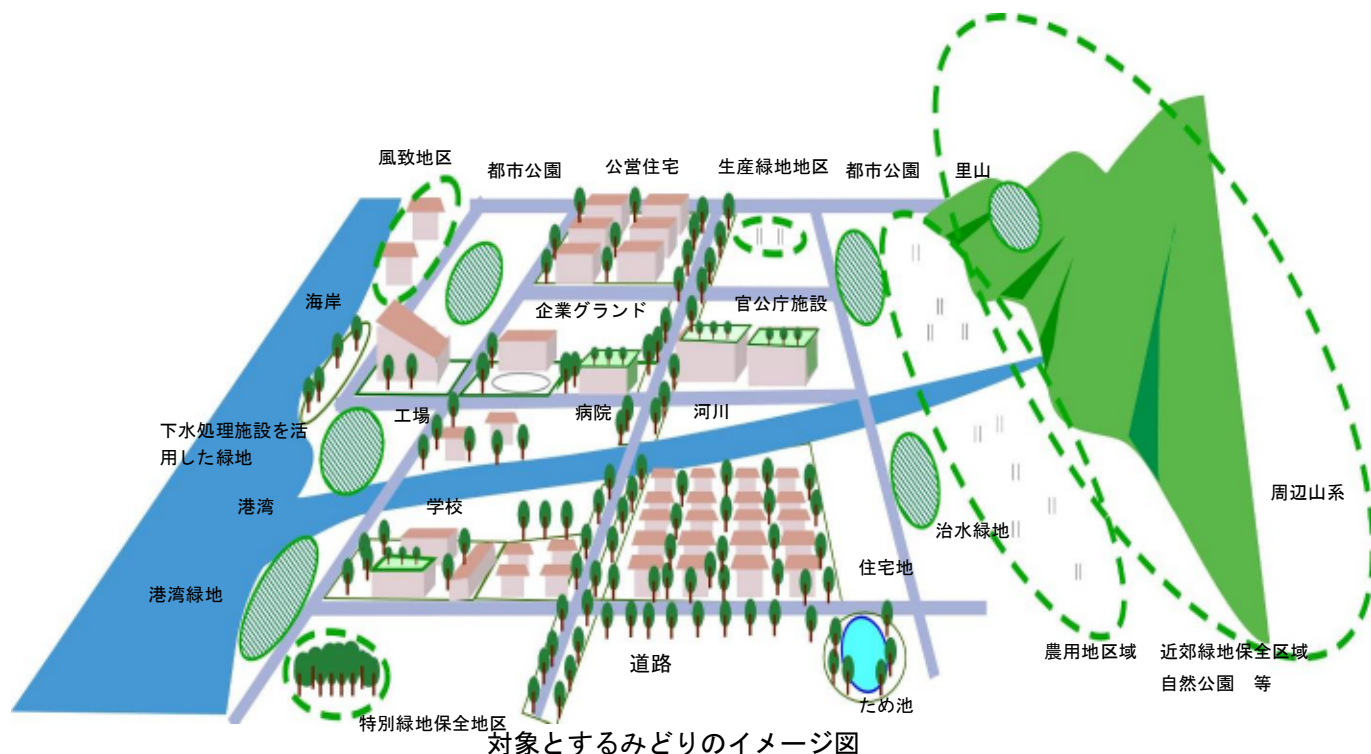
みどり：周辺山系の森林、都市の樹林・樹木・草花、公園、農地に加え、これらと一体となった水辺・オープンスペースなど

みどりの中で、担保性がある（将来にわたってみどりが残される可能性が高い）と判断できるものを「緑地」とし、さらに「緑地」を施設緑地と地域制緑地に分類しています。

- 緑地
- 施設緑地：都市公園あるいはこれに準じる機能を持つ施設として国、府、市町村が土地を所有している緑地（借地等も含む）
 - 地域制緑地：森林、農地、交用地や水辺等のオープンスペース、公共施設、民間の宅地や企業敷地等において、法や条例等により国、府、市町村が土地利用を規制、誘導して確保する緑地

その他の定義

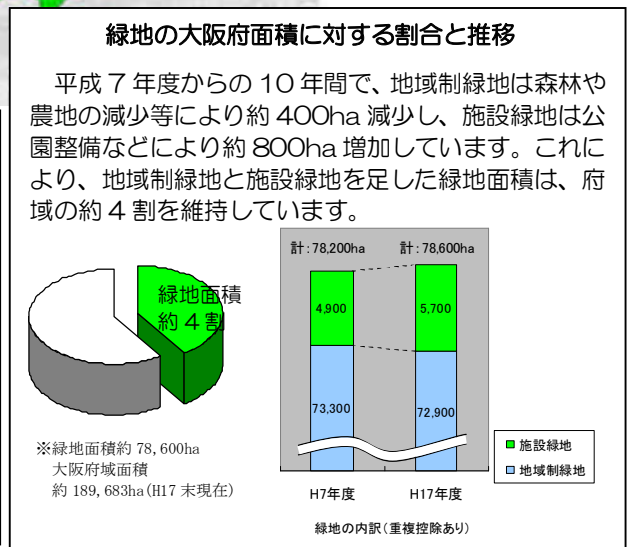
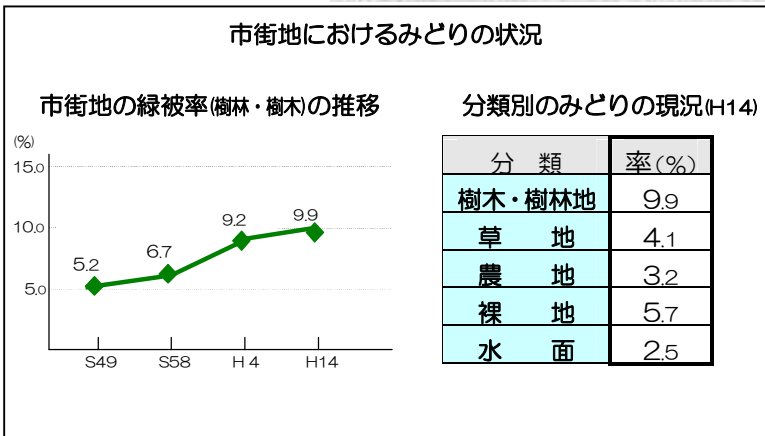
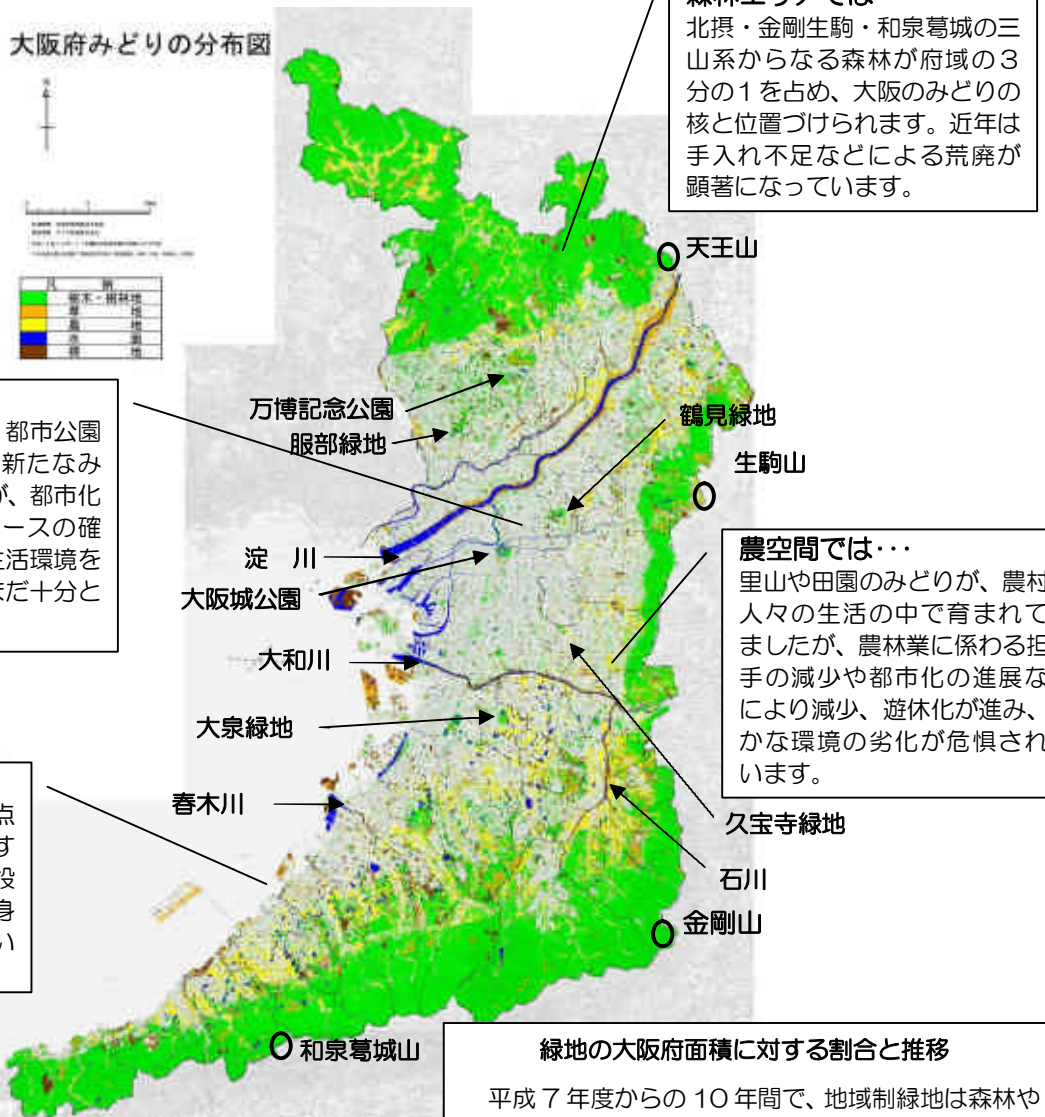
- ・樹林・樹木による緑被率：樹林や樹木(地上部の一部が木質化している植物をいい、タケ類を含む)で被われた面積の割合（樹林・樹木の樹冠投影面積÷土地の面積）
- ・草地等を含む緑被率：上記「樹林・樹木による緑被率」に、草地等で被われた面積を足した面積の割合（（樹林・樹木の樹冠投影面積＋草地等による被覆面積）÷土地の面積）
- ・草地等：樹林・樹木以外の植生で、芝草類、笹類、つる植物、草本類、河川敷の葦原など



第1章 みどりの風を感じる大阪を目指して

1. 計画策定の背景と意義

(1) みどりの現況

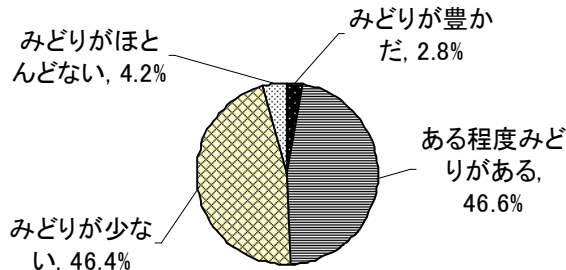


(2) みどりに対する府民の声

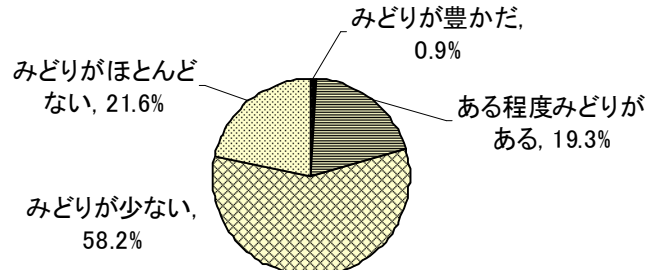
平成 21 年 7 月に実施した政策マーケティング調査「大阪のみどりについて」では、アンケートモニター約 2000 名の方から、次のとおりご意見をいただいています。

・おおさかQネット登録のアンケートモニター2,136名 回答 1,661名 回答率 77%
 ・調査期間：平成 21 年 7 月 2 日～12 日

- ① 大阪(府域全体)のみどりについて、「少ない」「ほとんどない」と感じる府民が約5割、都市部のみどりについては約8割の府民が「少ない」「ほとんどない」と感じている



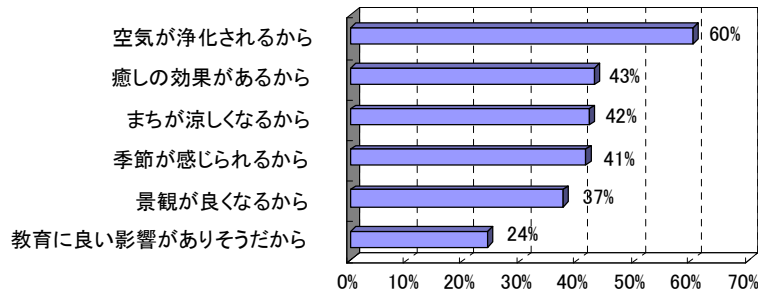
大阪(府域全体)のみどりについてどう感じているか



大阪府域の都市部のみどりについてどう感じているか

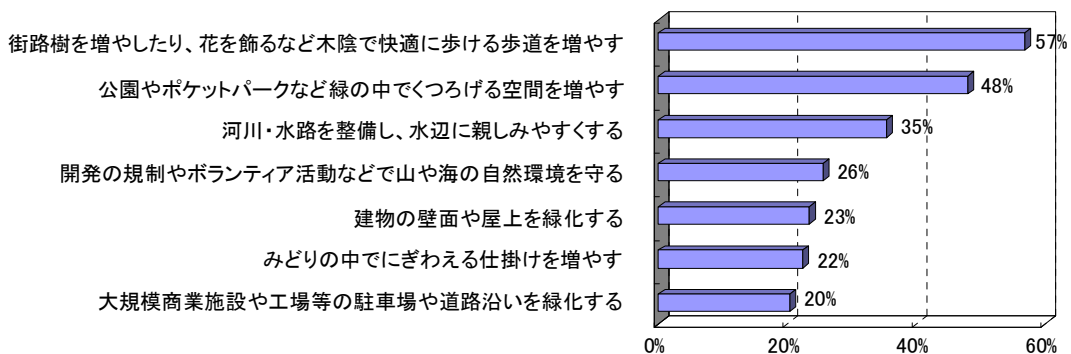
- ② 最近府内で自然環境に触れた、緑化活動に取り組んだとする府民は約4割、その主な内容は「自宅の庭などにおけるガーデニングなど」、「緑の多い町並みなどの散策」、「公園やみどりの多い施設等での余暇活動」、「山や海、川などでの余暇活動」
 (数値は年数回程度以上とする府民の割合の平均)

- ③ 大阪におけるみどりをつなぎ、広げ、増やしていくことについて、「進めるべき」(75%)、「どちらかといえば進めるべき」(23%)とする府民は 98%。
 その主な理由は



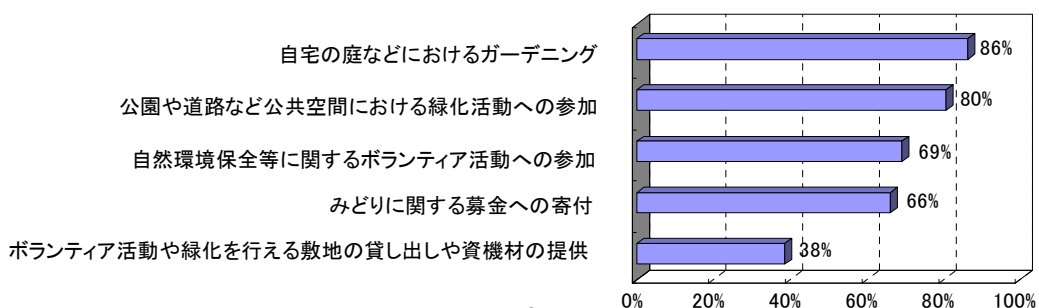
(複数回答)

- ④ みどり豊かな大阪にしていくために、必要だと思う主な取組は



(複数回答)

- ⑤ みどり豊かな大阪にするために府民が「協力したい」「機会があれば協力したい」とする主な内容は



(複数回答)

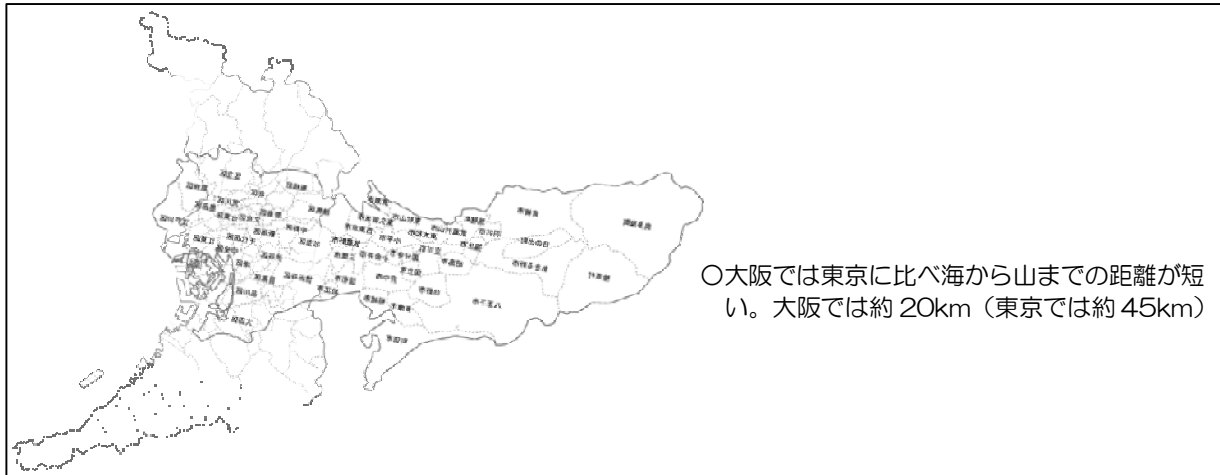
(3) みどりを取り巻く課題と対応

① 広域的なみどりのネットワークが必要

これまで森林の保全や都市部の緑化などをそれぞれ進めてきましたが、都市近郊に自然豊かな山系や海辺があるという立地が活かされておらず、都市部では比較的身近なところに豊かなみどりがあるということが実感できていません。

⇒みどりの連続性を強化し、海～街～山をつなぐ「みどりの軸」を創出する必要があります。

■図1 大阪駅と東京駅の位置を合わせ、東京都の東西を逆にして重ね合わせた図

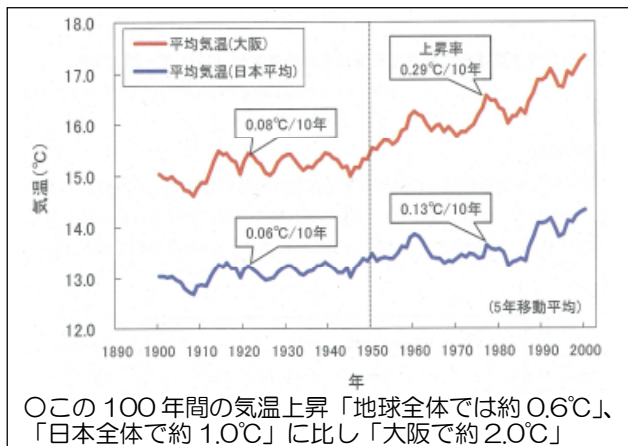


② 府民が実感できるみどりづくりが必要

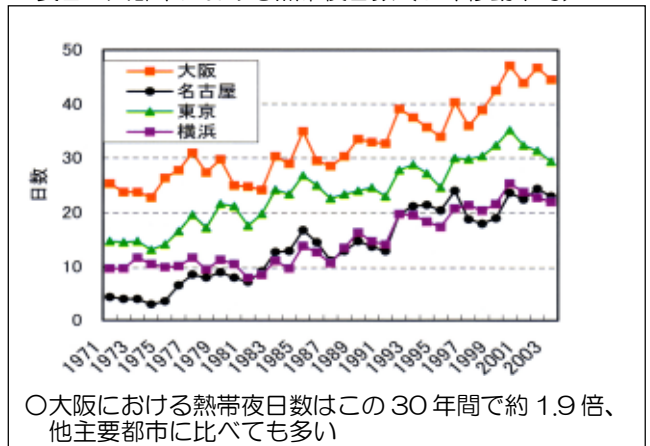
(2)のアンケート調査でもあったように、府民が実感できるみどりが不足している中、「地球温暖化」や「ヒートアイランド現象」、「生物多様性の低下」など、新たな環境問題も進行しています。

⇒CO₂の吸収をはじめ、みどりの多様な機能を発揮させる「周辺山系など既存のみどりの保全・再生」、多様なみどりを増やし、つなぎ、広げる「みどりの量的充足」、暮らしの豊かさや安全・安心、生物多様性確保などに資する「みどりの質の向上」を同時に進めていく必要があります。

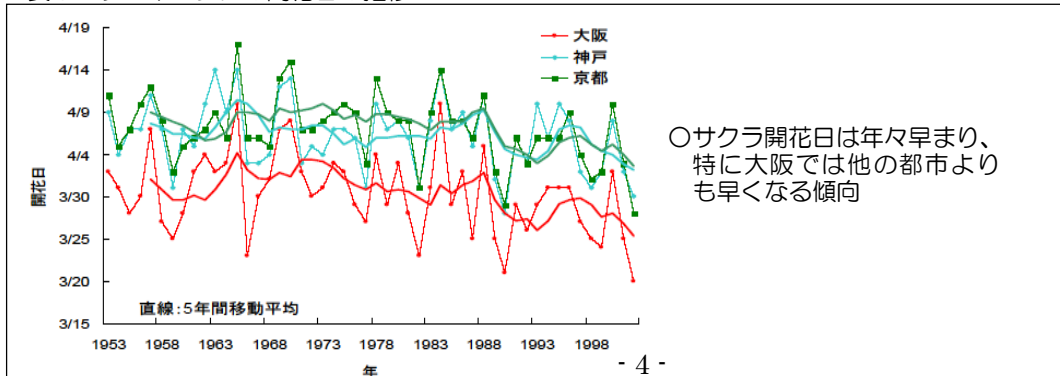
■表1 年平均気温の推移



■表2 大都市における熱帯夜日数（5年移動平均）



■表3 ソメイヨシノの開花日の推移



■表4 府内に生息・生育する生きものの種数と、そのうち絶滅の恐れがある種などとして「大阪府レッドデータブック」(府RDB)で取り上げられている種数とその割合

分類	大阪府に生息・生育する生きものの種数	大阪府RDBで取り上げられている種数	%	
ほ乳類	33	14	42	
鳥類	365	112	31	
は虫類	20	9	45	
両生類	18	11	61	
淡水魚類	130	54	42	
昆虫類	5,567	186	3	
陸産・淡水産貝類	156	59	38	
植物	2,436	451	19	
合計	8,725	896	10	

○府内生息種のうち絶滅の恐れがある種の割合は全体で約1割、両生類では約6割

③ 連携・協働の機運を活かし、高めるみどりづくりが必要

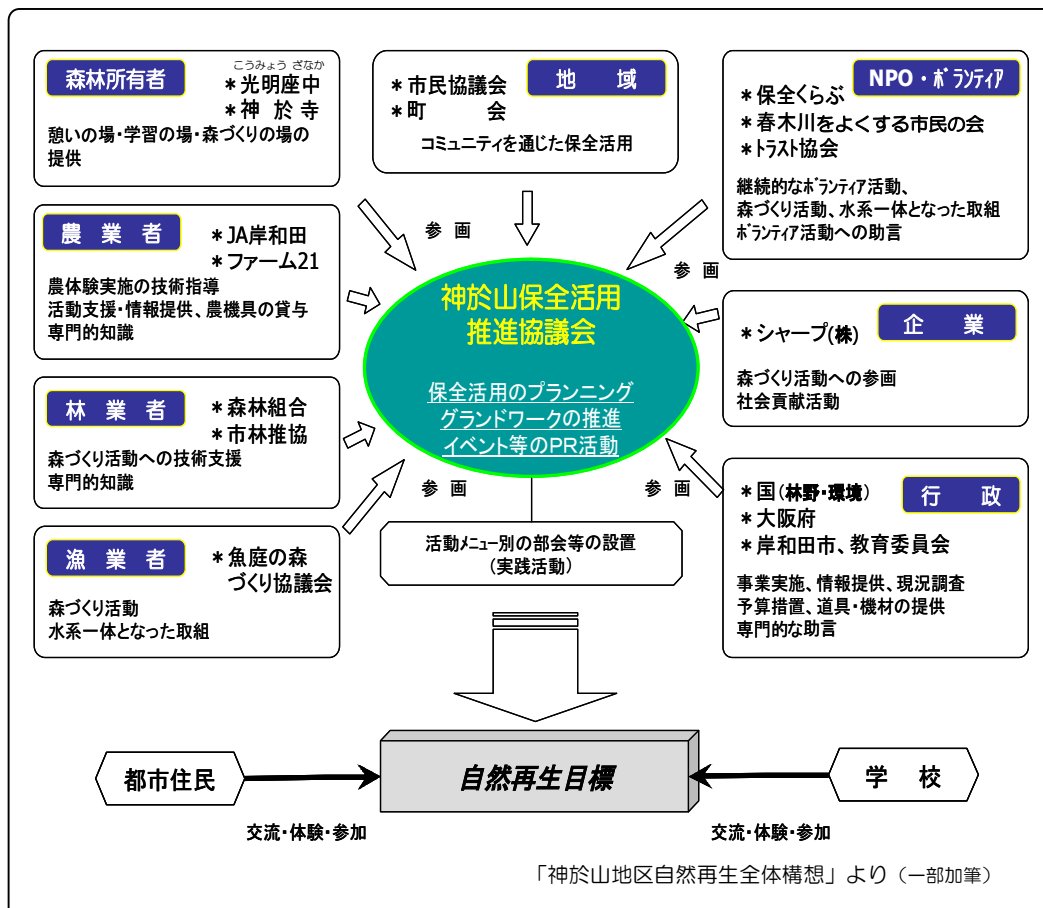
周辺山系における「森林ボランティア」活動や、道路・河川等における「アドプト制度」など、府民・NPO・企業・行政などが連携・協働して、みどりの保全・創出に取り組む機運が高まっています。

- ・特定非営利活動促進法(NPO法)の制定(H10)、指定管理者制度等の創設
- ・企業の社会的責任(CSR)活動の高まり

⇒民間の力を活かした「みどりのマネジメント」の仕組みづくりが必要です。

また、市町村や民間との連携により「みどりの連続性」を創出していくことも重要です。

■図2 神於山(岸和田市)での自然再生の取り組み



2. みどりの風を感じる大阪 将来像

(1) みどりの風を感じる大阪 将来像

みどりを取り巻く状況や府民等の声をふまえ、大阪府が目指すみどりの将来像を「みどりの風を感じる大都市・大阪」として示すとともに、府民の皆さんをはじめ、市町村、NPOなどと連携し取り組んでいきたいと考えています。

みどりの風を感じる大都市・大阪とは—

美しく季節感のあるみどりの中で、
人と人、人と自然のつながりが生まれ、
さわやかな風を感じる快適なまち

集まる人・
モノ・情報



大阪らしい
みどりの風景

特色ある
スポット

都市の風格や四季の彩りある景観が形成され、みどりを活かした特色あるスポットに多くの人が集い、交流しています。

豊かな緑陰

風とおる
涼しい街



澄んだ空気

災害の防止

街路樹や河川に沿って山や海の爽やかな風が流れ込み、都心でも自然の息吹を感じることができます。

四季の彩

みどりがつなぐ、人と人、人と自然—

みどりの風を感じる大都市・大阪

親しめる
山・農空間・海



みどりの中の
遊び場・学び場

緑と水辺に
野鳥や昆虫

豊かな自然や地域の歴史文化とふれあえる場が増え、子どもたちはみどりの中でのびのび遊び、学んでいます。

校庭の芝生



CSR活動
の発展

広がる
交流の輪

みどりづくりをきっかけに、多様な人と人、人と自然とのつながりが生まれています。

(2) みどりのネットワーク図と配置方針

周辺山系やベイエリアの豊かな自然が街をつつみ、それらの自然が河川や道路を軸として街へと導かれ、そして街の中でも都市公園をはじめとする緑の拠点が緑道や街路樹などでつなげられている—

このような「みどりのネットワーク」の形成により、「みどりの風を感じる大都市・大阪」の実現を目指します。

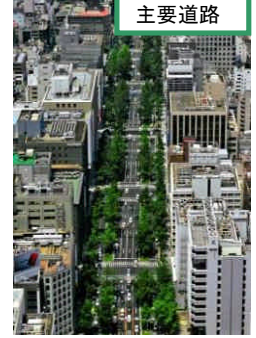
骨格となるみどりをつなげる

周辺山系、臨海部、大阪中央環状線、主要河川（猪名川、淀川、大和川、石川）、府営公園等の大規模公園をはじめとした府域の骨格となるみどりの拠点を保全・創出します。生物多様性保全につながる生き物の道（エコロジカルネットワーク）の視点も活かします。



骨格を厚く広くする

骨格となるみどりの拠点や軸の充実に加え、骨格周辺の多様な主体によるみどりづくりと連携し、骨格のみどりに厚みと広がりを持たせ、ネットワークの充実を図ります。

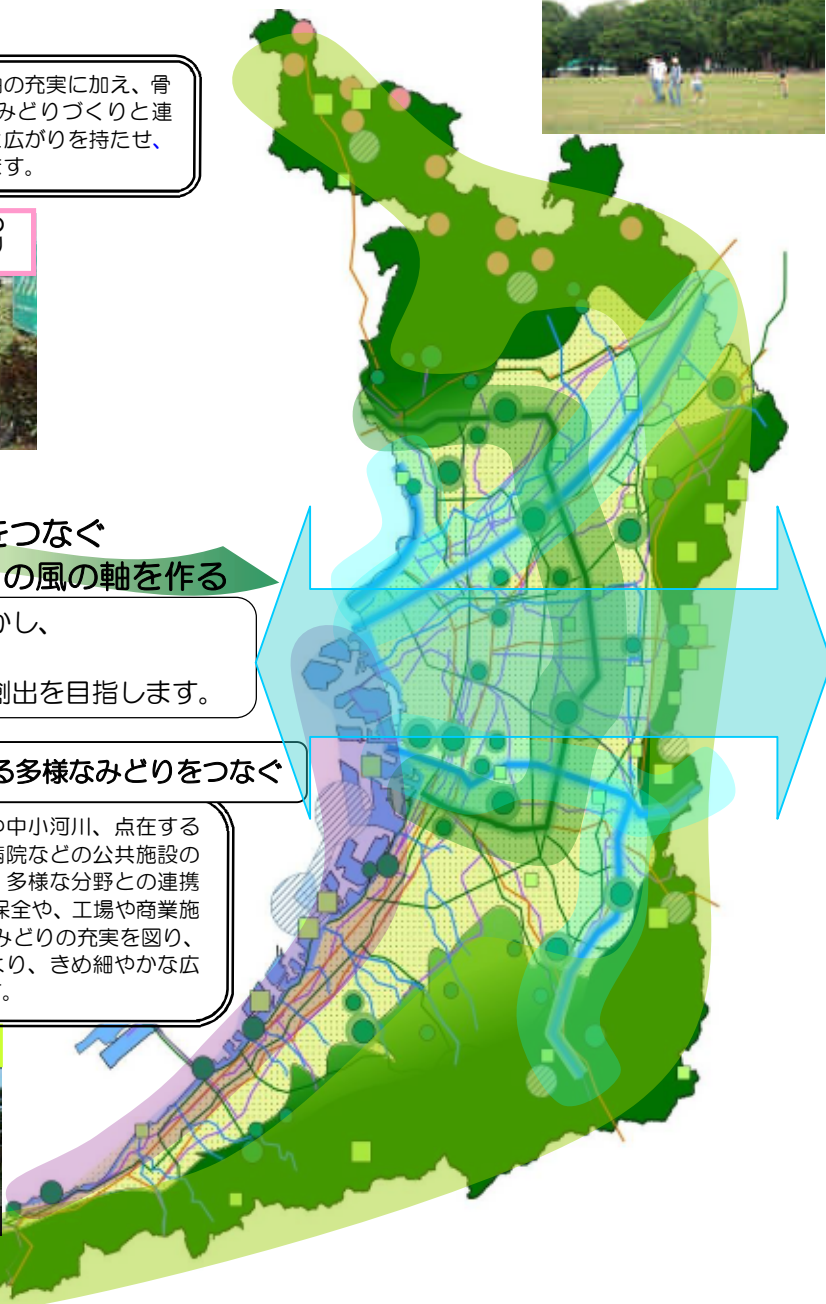


海と山をつなぐ みどりの風の軸を作る

大阪府域の地形を活かし、海と山をつなぐみどりの風の軸の創出を目指します。

公共空間や民有地における多様なみどりをつなぐ

市街地に網目状に広がる道路や中小河川、点在する公園などの都市施設や学校、病院などの公共施設のみどりを充実させるとともに、多様な分野との連携により、樹林地・農空間などの保全や、工場や商業施設、壁面・屋上などの民有地のみどりの充実を図り、互いに結びつけていくことにより、きめ細やかな広がりのあるみどりを形成します。



骨格となるみどり

	周辺山系・丘陵地
	主要河川
	大阪中央環状線
	府営公園などの大規模公園
	その他主要な都市公園（概ね30ha以上）
	臨海部
	構想段階の府営公園
	府立自然公園

骨格に準ずるみどり

	中小河川
	主要道路
	鉄道
	公園緑地に準じる機能をもつ府管理の施設
	公園緑地に準じる機能をもつ府管理の公共施設緑地
	大：概ね30ha以上
	小：概ね10ha以上
	きめ細やかなみどり

(3) 計画期間と目標、指標

計画期間 : 21世紀の第1四半期(2025年(H37))まで

緑地の確保目標:「緑地」の府域面積に対する割合を約4割以上確保

緑化の目標(市街化区域):**緑被率20%(現況(H14:14%)の1.5倍)**

従来からの「樹林・樹木のみを対象とする緑被率」15%を目指しつつ、“樹木の植栽困難地でのみどりの確保”や“ヒートアイランド現象の緩和”等を早急に進める観点から、「樹林・樹木に芝生等を含む草地等を加えた緑被率」を新たな指標として設定します。

指標 府民一人ひとりにみどりを増やしたいという思いが生まれ実践するようになることが、「みどりの風を感じる大都市・大阪」の実現につながると考え、以下の指標を検証していきます。

◆大阪府域にみどりがあると感じる府民の割合を増やします

《約5割⇒約8割》

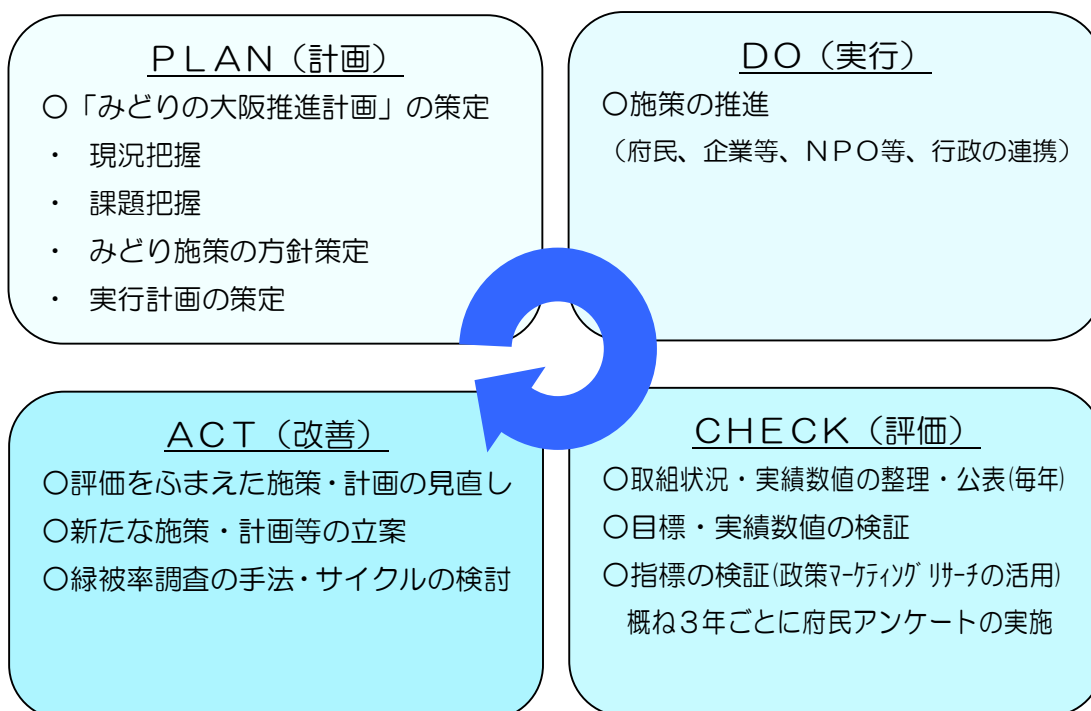
◆最近みどりに触れた(緑化活動に取り組んだ、自然に親しんだ等)府民の割合を増やします

《約4割⇒約8割》

(4) 計画の点検と見直し

- ◆具体的取組の実施状況については、取組状況や実績数値などを整理し、毎年ホームページ等で府民の皆さんに公表します。
- ◆緑被率の調査を行う「みどりの現況調査」については、技術や費用対効果などを勘案して手法や調査サイクルの検討を進めるとともに、定期的を実施します。
- ◆各目標や実績数値について定期的に検証するとともに、指標については、概ね3年ごとに政策マーケティング・リサーチ等を活用した府民アンケートにより検証します。
- ◆取組状況・指標等の検証により、必要に応じて計画を見直します。

PDCAサイクルにそった施策推進



3. みどりの効果の活用と役割分担

みどりの将来像の実現に向けて、次のような考え方をふまえ、みどりづくりに取り組んでいきます。

(1) みどりが持つ多様な効果の活用

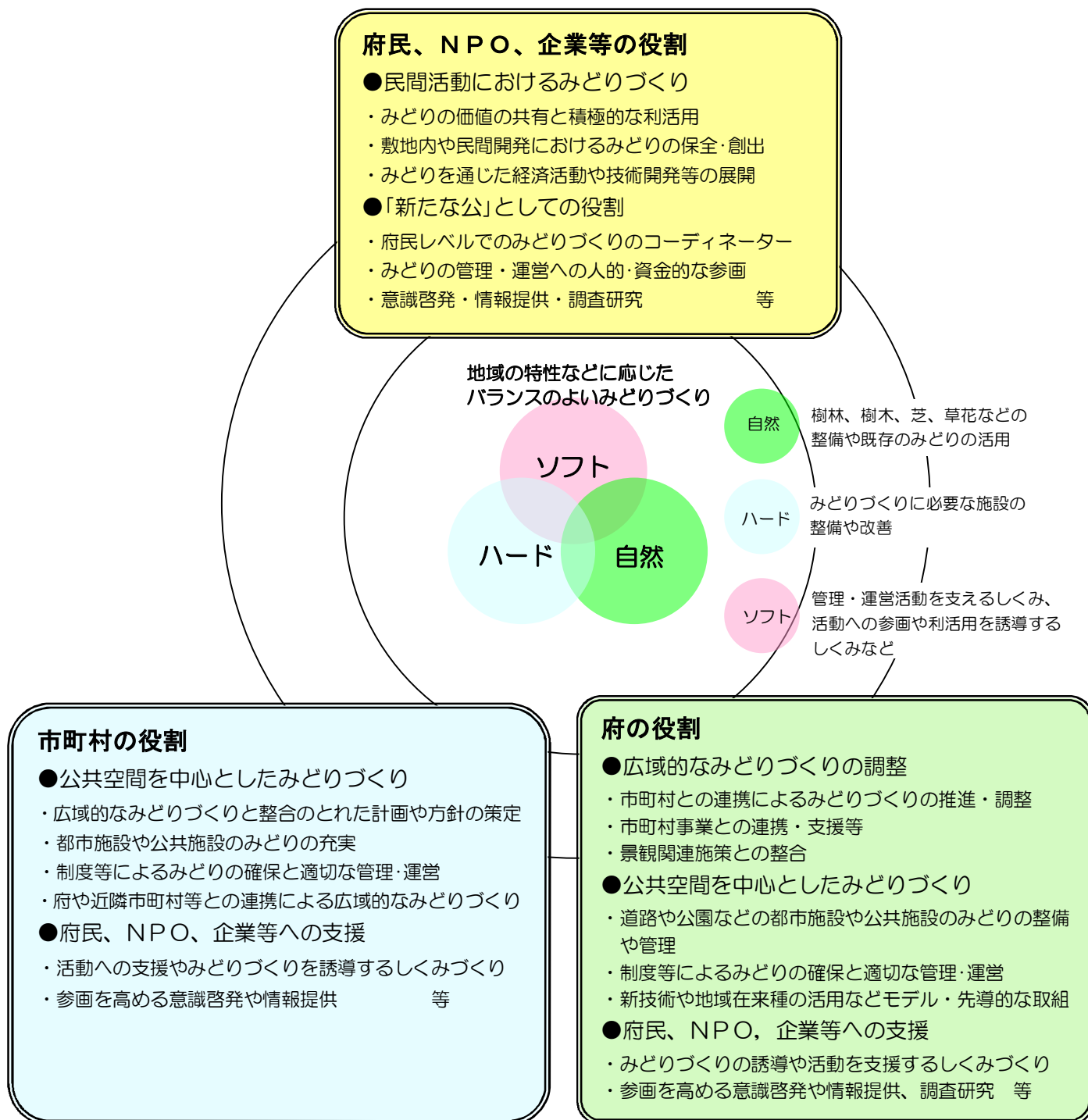
みどりには、私たちの暮らしを支える様々な効果があります。中でもみどりを活用することによる、コミュニティ形成やにぎわいづくり、地域の魅力向上など、地域力を高める効果（媒体効果）に着目していきます。



(2) 府・市町村・府民・NPO・企業などの役割分担

みどりの将来像を実現するためには、誰もが「みどりのまちづくり」の一役を担っていることを理解し、行動に移していくことが大切です。府、市町村、府民、NPO、企業などがそれぞれの役割分担のもと、連携・相互支援を図りながら、総合的にみどりづくりを推進します。

また、地域の特性や活動の主体、目的などに応じて、「自然」「ハード」「ソフト」の3つをバランスよく組み合わせ、効果的・効率的なみどりづくりを展開します。



第2章 みどりの大阪 実現戦略

1. みどりの大阪 4つの基本戦略

「みどりの風を感じる大阪」を実現するため、次の4つの基本戦略のもと、みどりづくりをすすめます。

基本戦略-1

みどり豊かな自然環境の保全・再生

大阪の街は、周辺山系の森林をはじめ身近な農空間や大阪湾の豊かな自然に包まれています。近年その荒廃が進んでいます。それらのみどり豊かな自然環境を保全・再生し、水源のかん養や災害の防止をはじめとするみどりの環境保全機能の発揮とともに、生物多様性の確保や府民の憩いの場づくりを目指します。

周辺山系の保全・再生



間伐による森林保全活動

農空間の保全・活用



能勢町長谷の棚田(日本の棚田百選)

臨海部のみどりの保全・再生



府民協働による「共生の森」

基本戦略-2

みどりの風を感じるネットワークの形成

大阪の街を包む豊かな自然を街の中心へと導くネットワークができれば、街の中でもみどりの風を感じるすることができます。

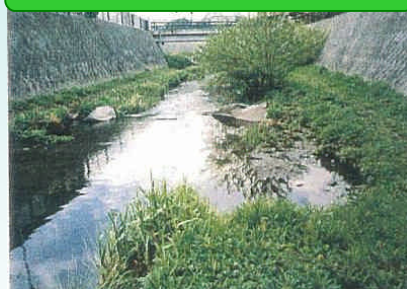
生物多様性保全につながる生き物の道や都市構造の形成による風の道の視点を活かしながら、主要河川や街路樹、大規模公園緑地を軸や拠点としてみどりの連続性を確保し、都市にみどりの風を呼び込むための「みどりのネットワーク」の形成を進めます。

道路を主軸としたネットワーク



大阪中央環状線

河川を主軸としたネットワーク



恩智川

ネットワークの拠点となる 大規模公園緑地



大泉緑地

基本戦略-3

街の中に多様なみどりを創出

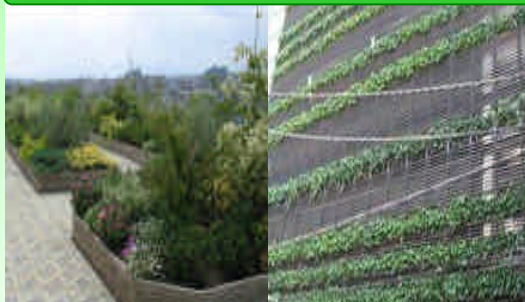
都市におけるみどりは、ヒートアイランド対策や都市の魅力アップなどに有効ですが、新たな緑化スペースの確保が困難となっています。今あるみどりの保全、育成、活用とともに、壁面・屋上など新たな緑化を進め、多様なみどりをつなぎ広げていくことにより、都市の中でもみどりの風を感じる街づくりを進めます。

府有施設の緑化推進等



府立成人病センター

民有地のみどりの保全・創出



屋上緑化や壁面緑化

基本戦略-4

みどりの行動の促進

みどりの風を感じる大阪の実現には、府民・NPO・事業者・地権者・府や市町村などあらゆる主体が一体となった取り組みが必要です。

府民協働によるみどりづくりの体制づくりや教育・啓発活動を推進し、みどりを通じた地域力の再生を目指します。

みどりづくりを通じた地域力再生



校庭の芝生化

府民、NPO、企業等との連携推進



中環の森づくり

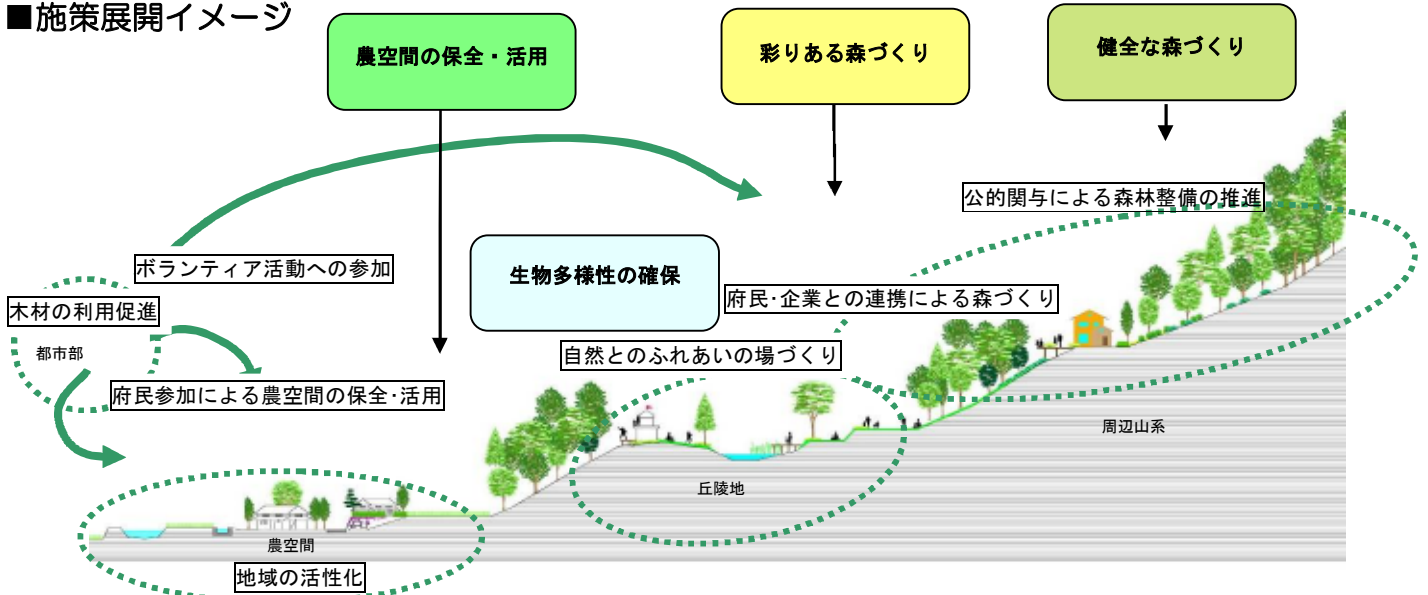
2. 基本戦略—1 みどり豊かな自然環境の保全・再生

目標

周辺山系や農空間、大阪湾の豊かな自然環境の保全・再生により、「みどりの環境保全機能の発揮」「生物多様性の確保」「府民の憩いの場づくり」を実現します。

周辺山系・農空間のみどりの保全・再生

■施策展開イメージ



■具体的戦略

健全な森づくり

- ◆ 森林機能再生重点地域の指定等による効率的な放置森林対策
災害防止等の観点から、特に重要度の高い地域を森林機能再生重点地域に指定し、優先的に間伐を実施するなど、放置森林対策行動計画に基づき、市町村との連携強化を図りながら、計画的な森林整備・再生を図ります。
- ◆ 新たな府立自然公園の指定や開発協議制度創設等による森林保全
森林の持つ防災機能等を高める森林整備を計画的に推進します。さらに、新たな府立自然公園の指定や保安林制度・近郊緑地保全制度など保全地域制度を積極的に活用するとともに、小規模林地開発に対する協議制度の創設などにより、森林を確実に保全していきます。
- ◆ 健全な森を支える人づくりと適切な維持管理の促進
公共事業等における木材利用の推進やバイオマスの利用促進とともに、森林整備や木材利用のCO₂吸収量の評価などにより、府民や企業、NPO等が積極的に参画できる新たな仕組みづくりを進めます。

彩りある森づくり

- ◆ 「生駒山系花屏風」構想の推進（15年間で1万本の植樹）
生駒山系を屏風に見立て、府民・企業・市町村・国等と連携して、花木や紅葉の美しい樹木の植樹や適切な管理により、府民に愛される自然資源として次世代に引き継ぐとともに、放置森林問題への府民の理解を深めます。
- ◆ 新たな保護制度の創設等による生物多様性の確保
生物多様性地域戦略の策定や里山保全地区の指定など新たな保護制度の創設、「大阪府レッドデータブック」の見直しなどにより希少な野生動植物種の保護を図ります。野生鳥獣の適切な保護管理・生態系等に被害を与える外来生物の防除による「人と自然との共生」を図ります。



- ◆ 府営公園・府民の森・自然歩道等の利用促進と適切な管理運営
地域の自然・歴史・文化的資源を活かし、府民の多様なニーズに応えた自然とのふれあいの場として適切に配置し、経営の視点をふまえた適切な管理運営と、プログラム提供などによる利用促進を図ります。



農空間の保全と活用

- ◆ 農空間の保全・活用

多面的な機能を持つ農地の確保に努めると共に、将来にわたり保全すべき農地等を「農空間保全地域」に指定し、農業者のみならず、幅広い府民参加によって、遊休化の未然防止や遊休農地の利用促進を図ります。

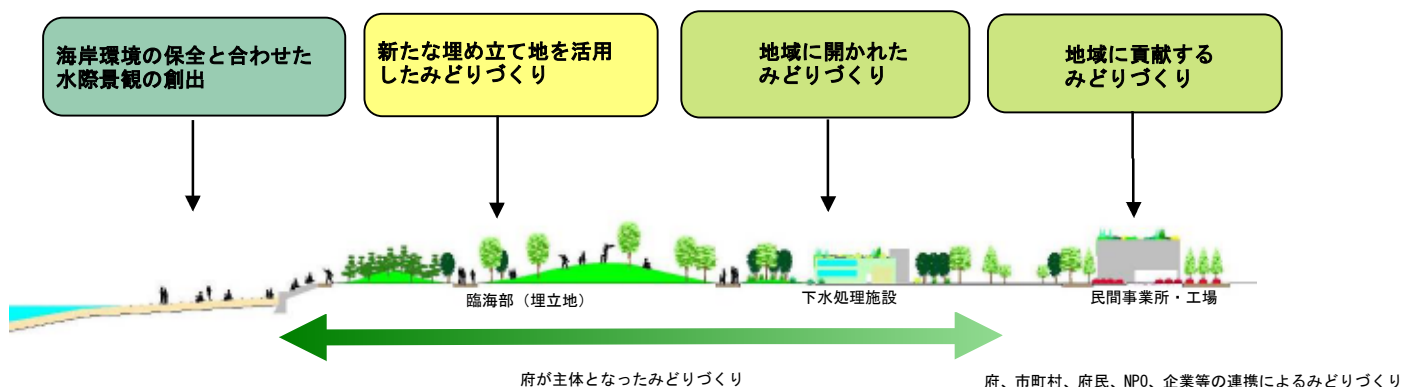
- ◆ ため池・水路等の環境整備

幅広い府民参加の下で、水と緑に親しむオアシスとして整備し、保全・活用するとともに、近自然型工法の採用や水際の植生の保全などにより、生き物が生息する水辺環境を確保します。



臨海部のみどりの保全・再生

■ 施策展開イメージ



■ 具体的戦略

自然環境に配慮した海辺づくり

- ◆ 「共生の森」づくりの推進

堺臨海部の産廃処分跡地において、府民協働により、大規模な森・ビオトープ空間等の自然環境を創出・再生するとともに、環境学習の場、自然とのふれあいの場としての活用を図ります。

- ◆ 河口干潟の再生や人工干潟の整備

府営二色の浜公園にある旧河川敷を利用し、地域住民と協働で近木川の河口干潟の再生に取り組むのをはじめ、河口部における多様な生物の生息環境を保全・創出します。

大阪湾の浅海域では、干潟や藻場の保全とともに、堺2区沖等において人工干潟・藻場の整備を図り、生態系に配慮した海辺環境を創出します。



海辺のみどりの連続性とアクセスの確保

- ◆ 海岸環境と合わせた水際景観の創出

府営公園等の整備や下水処理場などの公共施設の緑化、埋立地などにおける計画的な緑地の整備などを通じて、広がりのある空間とみどりが醸し出す優れた水際景観を形成します。

また、防災的な観点もふまえつつ、府民が海に親しむ機会を提供する「ふれあい漁港」や海辺のプロムナード等の整備などをすすめ、アメニティ豊かな親水空間の形成を図ります。



3. 基本戦略－2 みどりの風を感じるネットワークの形成

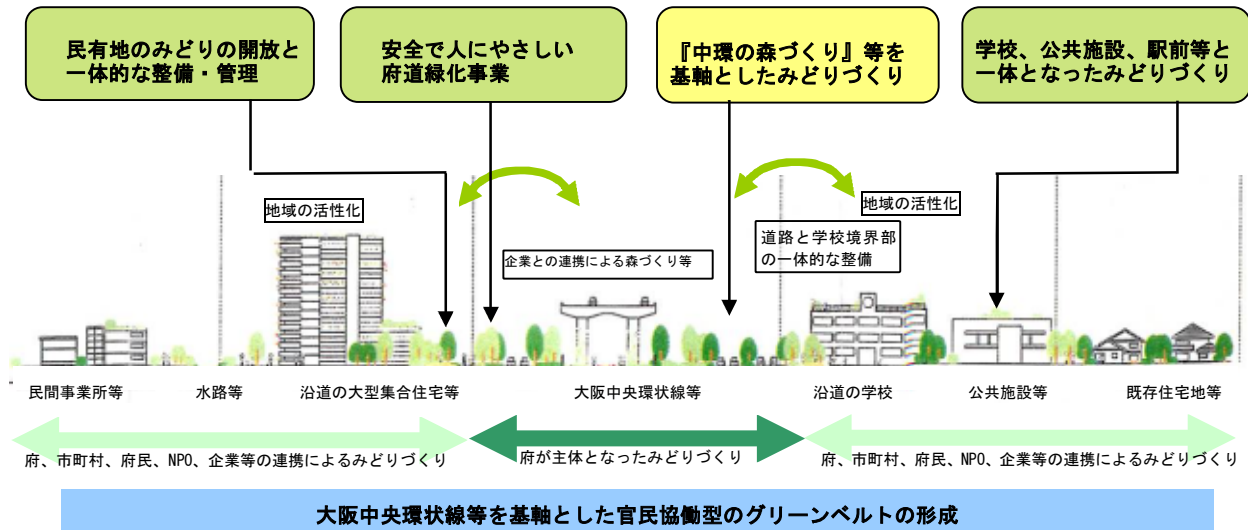
目標

主要道路・主要河川・大規模公園緑地を軸や拠点として、環状・放射状・東西方向などの、みどりの連続性や厚みと広がり確保し、周辺山系や大阪湾の豊かな自然を街へと導く「みどりのネットワーク」を形成します。

主要道路を主軸としたみどりのネットワークの形成

■ 施策展開イメージ

(例) 大阪中央環状線



■ 具体的戦略

主軸となる道路空間のみどりの拡充

◆ 『中環の森づくり』等を基軸としたみどりづくり

街路樹の適正な整備や沿道の公共施設などのみどりの充実とともに、市町村や府民、NPO、企業等の地域との連携によりみどりを育成し、道路空間を活用したみどりの骨格軸を創出します。同時に、下水の処理水や雨水を活用し、環境に配慮した取り組みを進めます。

◆ 安全で人にやさしい府道緑化事業の推進

防火機能の高い樹種の導入や街路樹の密度アップ等により災害時の延焼防止や避難路の確保に努め、植栽樹の改良や歩道の拡幅等により高齢者、障がい者等に配慮した緑化の推進に努めます。

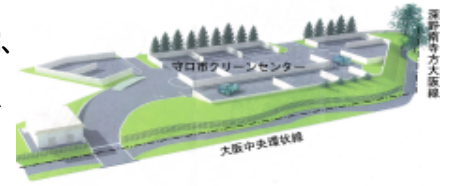
◆ 夏を冷やすクールロード事業

地域住民との相互理解のもと、剪定方法を工夫し樹木の本来あるべき姿に再生させながら樹木のボリュームを確保し、美しく緑陰のある高木の並木道を創出します。また、電線共同溝等で道路の無電柱化を進め、緑化と併せた美しい景観を創出します。更に、地域協働が盛んな地域の道路等で、地域連携による打ち水の実施や環境に配慮した舗装等を実施するなど、涼しく連続した木陰のみち（クールロード）を形成していきます。



◆ 道路と隣接地との一体的な整備・管理

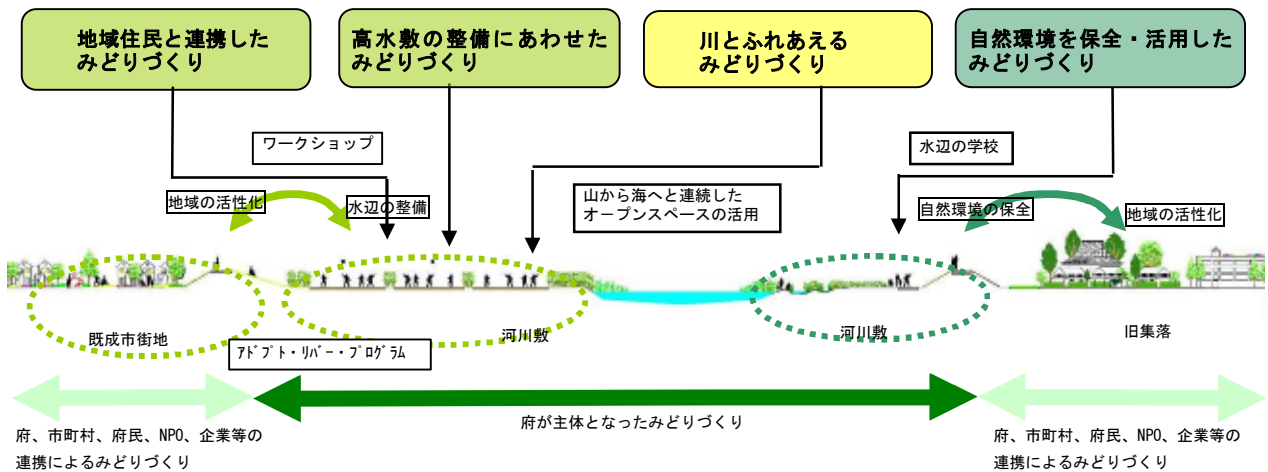
道路空間のみどりに厚みと広がりをもたせるため、隣接する学校や病院、工場などの協力を得ながら、緑化をはじめ、フェンスの撤去や緑化フェンスへのリニューアルなどを実施し、一体的な視覚効果の高いみどりづくりを推進します。



主要河川を主軸としたみどりのネットワークの形成

■ 施策展開イメージ

(例) 石川



■ 具体的戦略

主軸となる河川空間のみどりの拡充

◆ 水の都「大阪」の再生

都市部の河川においては、水都再生の取組みを進める中で、積極的に緑化を進め、水辺に木陰を形成し、涼しげで緑豊かな賑わい空間を創出します。



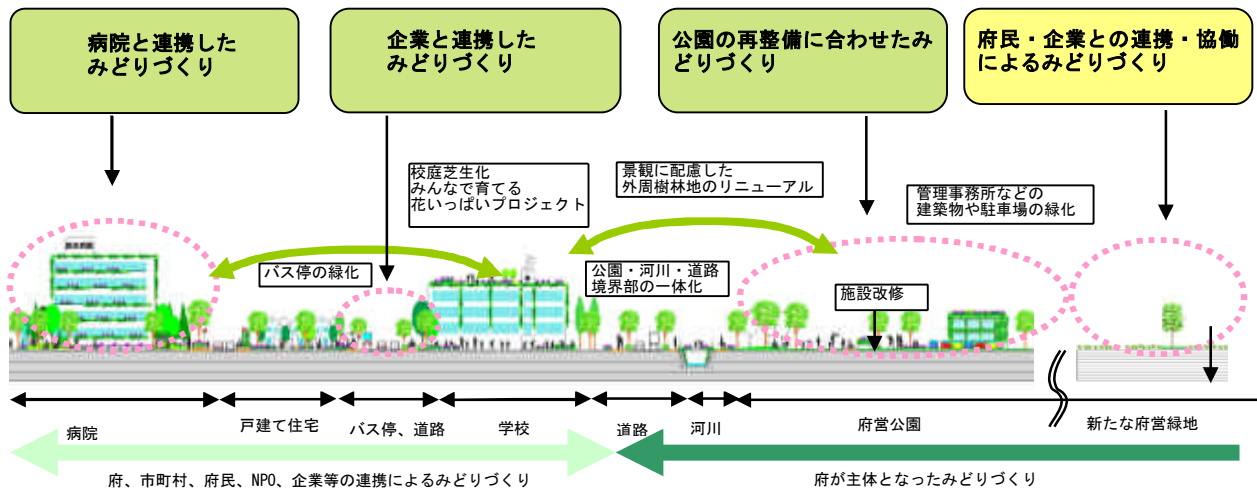
◆ 持続的かつ多様な河川環境の創出

周辺の土地利用等を踏まえたまちづくりの中で、河川が有している自然の復元力を積極的に誘導できるよう、持続的かつ多様な河川環境の創出に努めるとともに、地域特性に応じて川に身近にふれあえる憩いの場を形成していきます。



大規模公園緑地を拠点としたみどりのネットワークの形成

■施策展開イメージ



■具体的戦略

拠点となる大規模公園緑地の充実

◆ 都市を冷やす巨大なみどりの拠点づくり

府営公園の着実な整備に加え、既存樹木の健全な生育を促すとともに、施設の新設や改修時において、屋上・壁面・駐車場などの緑化や遮熱性舗装などにも取り組んでいきます。また、事業予定地の一部を活用し、府民協働により先行的に緑化していきます。

◆ 泉佐野丘陵緑地における大規模緑地づくり

企業グループなどと連携して民間資金やボランティアの力をあわせた、全国初の大規模緑地づくりを推進します。府民協働により生産した花苗を、「大阪市を中心部での花飾り」などに提供し、まちの緑化支援拠点のモデルとして地域活性化に資するみどりづくりを実施していきます。

◆ パークマネジメントの実践

経営的視点・利用者の視点に立って、より質の高い公園サービスを実施することにより、公園の新しい魅力や可能性を発掘する事業を実施し、結果を評価して継続的に改善を実施していきます。

◆ 住民の交流の場となる下水処理施設内緑地整備の推進

地域に開かれた下水道を目指し、水みらいセンター内の施設の屋上及び場内の芝生広場やせせらぎなどの緑地を府民へ開放し、憩いの場や地域のイベント交流の場、水辺の環境学習の場として提供します。

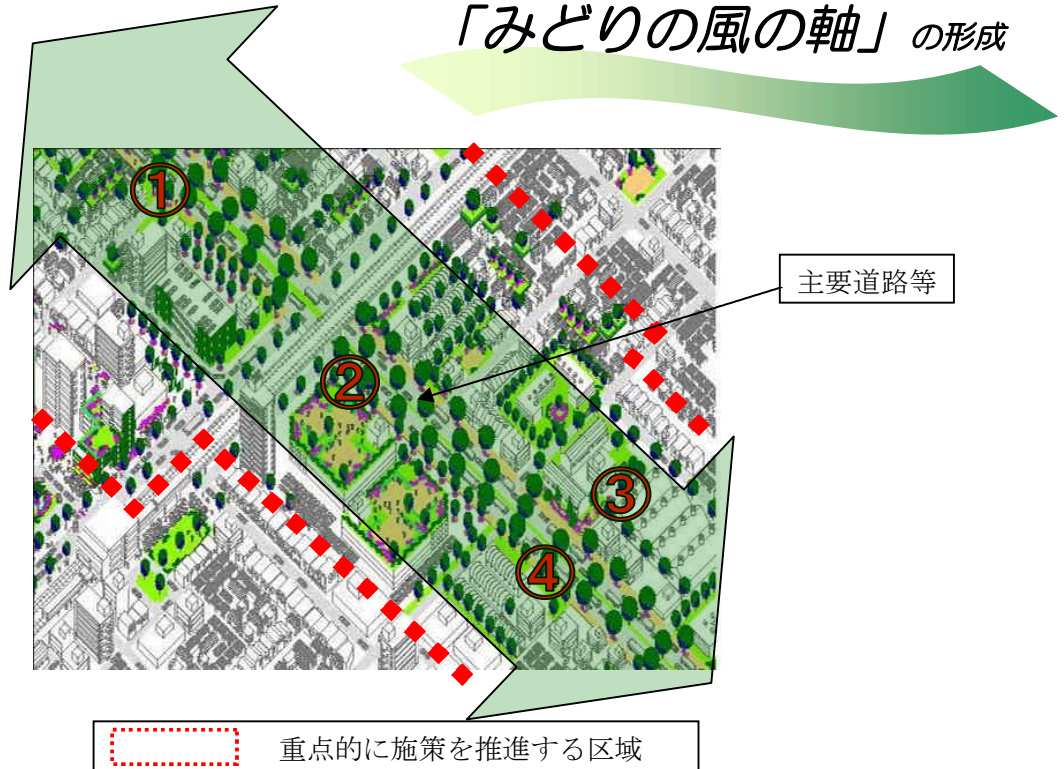


主軸や拠点となるみどりの連続性や厚みと広がり確保

■施策展開イメージ

主要道路、主要河川、大規模公園を中心に、
連続性と厚み、広がりのある

「みどりの風の軸」の形成



■具体的戦略

みどり豊かなセミパブリック空間の創出による「みどりの風の軸」の形成

◆ (仮称)みどりの風促進区域の指定

主軸や拠点となるみどりの連続性や厚みと広がり確保するため、行政区域を越えた広域的な視点で目標像を見極め、主要道路や主要河川、大規模公園などの都市施設等を軸や拠点とした一定のまとまりのある区域を特に重点的に施策を推進する“(仮称)みどりの風促進区域”の指定を検討します。

そこでは軸となる都市施設等を中心に民有地と一体で緑化空間を創出するなど、区域内のみどりの充実を図り、みどり豊かなセミパブリック空間を重点的に創出します。

そのため、都市施設等の従来からの緑化充実や透水性舗装によるヒートアイランド対策はもとより、景観やまちづくりからの視点も踏まえ、周辺民有地の緑化の規制誘導策など多様な手法の可能性を探りながら、面的な広がりのあるみどり空間の創出や建築物の緑化など厚みのあるみどりづくりを進めます。

推進にあたっては、市町村との連携や民間の力の活用を図るなど複層的・重点的にみどり施策を推進し、厚みと広がりのある「みどりの風の軸」を形成します。



① 公園の外周部と隣接する歩道との一体的な空間整備



② 歩道と隣接する公共施設や公開空地などの民有地との一体的な整備や管理



③ 民有地の規制誘導等による、人の目にふれ楽しめる効果的な緑化促進



④ 未利用地の暫定利用によるコミュニティガーデンの整備

4. 基本戦略－3 街の中に多様なみどりを創出

目標

今あるみどりの保全・育成・活用、様々な空間への新たな緑化を進め、多様なみどりをきめ細やかにつなぎ、広げていくことにより、「都市の中でもみどりの風を感じる街づくり」を進めます。

■施策展開イメージ

- ・ 公共施設（府有施設）の緑化推進
- ・ 公共施設（市町村施設）との連携
- ・ 民有地のみどりの保全・創出

公共施設



- ・ 計画的な緑化の推進
- ・ 周辺施設との一体的なみどりづくり

民間施設



- ・ 緑化義務制度の推進
- ・ 公開空地等を活用した一体整備

生産緑地



- ・ 景観形成やふれあいの場としての活用支援

ため池、水路



- ・ 地域力を活かしたため池オアシスやまちづくり水路等の整備、活用

中小河川



- ・ 地域住民の声を反映した親水空間の整備



道路



- ・ 街路樹の充実
- ・ 緑化活動への支援等を通じた地域コミュニティの形成

公園



- ・ 周辺住民と市町村との協定締結による緑化活動等への支援

学校



- ・ 校庭の芝生化や緑化樹配付、子どもたちが育てた花での緑化
- ・ ピオトープ等の整備

下水道



- ・ 下水処理施設等大規模公共施設の緑化推進・開放

住宅地



- ・ 緑地協定等の締結による接道部の緑化
- ・ オープンガーデンなどへの支援
- ・ みどりのカーテンの普及

既存樹木（保存樹木）



- ・ 保全地域制度の活用
- ・ 地域住民の活動への支援

駅前



- ・ 駅周辺のにぎわいのある空間を創出するみどりづくりへの支援

多様なみどりをきめ細やかにつなぎ広げていく展開イメージ

■ 具体的戦略

公共施設（府有施設）の緑化の推進

◆ 府有施設の計画的な緑化の推進

民間施設の緑化を先導していく必要がある府有施設について、既存施設も含めて、敷地面積の20パーセント以上の緑化を計画的に進めるとともに、接道部の重点緑化など効果的なみどりづくりを進めます。

「府有施設等緑化推進計画」

- 計画期間： 平成18年度～平成27年度までの10年間
- 緑化目標： 平成22年度末（中間年）の緑化基準達成施設の割合を概ね「85%」
平成27年度末（最終年）の // // を概ね「90%」
(平成20年調査結果 79%)



◆ 都市基盤施設の緑化の推進

府有施設の中でも都市基盤施設については、施設種別ごとのみどりの確保目標を定め、みどりの確保に努めます。

施設種別		H8.3末	H18.3 現況	長期
都市公園	府営公園の開設面積	719 ha	885.5 ha	約 2,400 ha
道路	道路の緑化延長	406 km	443 km	約 780 km
河川	水辺に親しめる川づくりの整備延長	70 km	113.4 km	約 550 km
ダム	安威川ダム、槇尾川ダム等	緑の保全、回復に努めると共に、貯水池周辺において水と緑を活かした環境整備に努める。		
砂防	市街地等からの緑地景観に充分に配慮した斜面等	水と緑豊かな溪流砂防事業や生駒山系グリーンベルト整備事業等により緑の保全と回復に努める。		
港湾・海岸	港湾緑地の開設面積	36 ha	40.2 ha	約 350 ha
	親水性護岸の整備延長	5 km	6.7 km	約 15 km
下水処理施設等	施設内の植栽地面積	42 ha	65 ha	約 180 ha
	処理場上部を利用した緑地の開設面積	5 ha	7.3 ha	約 80 ha

公共施設（市町村施設等）との連携

◆ 公共空間を生かしたみどりの連続性の確保

市町村等が管理する道路、中小河川、駅前周辺、下水道施設、公園などの都市施設や学校、病院などの公共施設のみどりの充実と連携して、府と市町村等が一体となってきめ細やかな連続性のあるみどりを創出します。

民有地等のみどりの保全・創出

◆ 建築物緑化促進制度の推進・強化

自然環境保全条例に基づき、一定規模以上の民間施設に対する緑化義務制度を、市町村との連携のもと効率的・効果的に運用するとともに、景観に配慮した良質な緑を創出するため接道部の緑化を重点化するなど、制度の改革を進めます。

◆ 屋上や壁面、駐車場など新たなみどりの創出

大阪府のみどりの基金等を活用した支援事業等の実施により、建築物の屋上や壁面、駐車場、軌道敷など限られたスペースにおけるきめ細やかなみどりづくりを進めます。

民間事業者の先進的・モデル的な取組の公表・顕彰や、緑化の先進技術の紹介などにより、民間事業者の自主的な取組を促進します。

◆ 既存のみどりを活かした都心の森づくり

地域にある社寺林や保存樹・保存樹林、生産緑地などの既存の民有地のみどりについて、保全地域制度等の活用や府民・市町村との連携により保全・育成し、周辺のみどりとつなげることにより、都心の森を形成していきます。

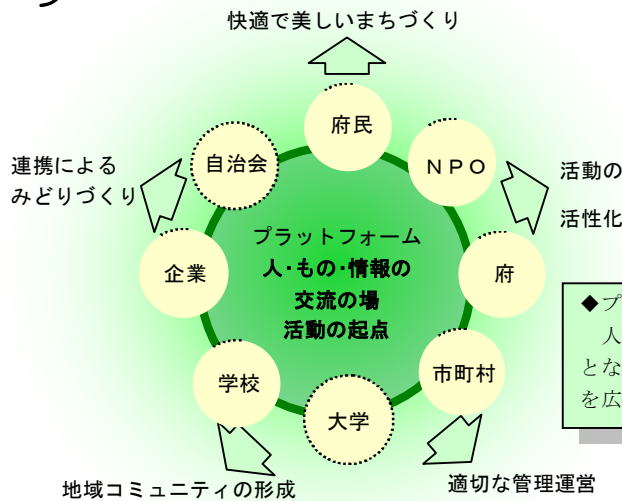


5. 基本戦略—4 みどりの行動の促進

目標

府民や企業、NPOなどの協働による保全の体制や仕組みづくりなどにより、「みどりを通じた地域力の再生」を目指します。

施策展開イメージ



◆プラットフォームの設置

人、モノ、情報が交流するしくみやみどりづくり活動の起点となるプラットフォームを設置し、みどりとコミュニティの輪を広げていきます。

具体的戦略

みどりづくりを通じた地域力再生の推進

◆校庭の芝生化など地域の核となるみどりづくり

校庭の芝生化は、子どもたちの健全な心と体の形成、熱環境の改善や砂埃の防止といった効果はもとより、地域コミュニティの形成促進にもつながることが期待されます。

小学校や幼稚園などの校庭の芝生化や、学校ピオトープの整備を行うとともに、企業等が維持管理を支援する「芝生アシスト制度」等により多様な主体の参画を呼びかけ、みどりの体制づくりを通じた地域力の再生を図ります。



◆みどりづくりを通じた地域交流の促進

小・中学校等へ土や種、小さな苗等を支給し、府の技術的な支援のもと、学校内で子どもたちが花を育て、それらを学校や地域、公共空間の緑化などに活用する「みんなで育てる花いっぱいプロジェクト」や、地域が協働して行う緑化への緑化樹配付などの支援を市町村などと連携して進め、みどりづくりを通じた地域の交流や、緑豊かなまちづくり活動への展開を促進します。



◆大規模公園などを拠点とした地域防災力の向上

広域避難地や後方支援活動拠点となる府営公園の整備を進めるとともに、その防災機能を府民が十分に活用できるように、みどりの中で様々な防災知識を習得できる「防災フィールドワーク・キャラバン」などを実施し、みどりづくりへの意識啓発を図りながら、災害に対する地域の連携力・防災力を高めます。



府民、NPO、企業等との連携推進

◆ 企業等のCSR活動と連携したみどりづくり

府が企業等と森林所有者の仲人となって企業の森づくり活動への参画を促す「アドプト・フォレスト制度」をはじめ、企業や地域住民と連携した森づくり（中環の森）、関空2期土砂採取跡地に官民協働で創る岬町多奈川地区多目的公園など、企業等による様々なCSR活動と、みどりづくりを行う機会や公共空間などとのマッチングや、企業等による環境貢献度を評価する仕組みづくりなどにより、企業等と連携したみどりづくりを推進します。

◆ CSR (Corporate Social Responsibility)

企業の社会的責任。企業の活動に社会的公正や倫理、環境への配慮を取り入れ、消費者、地域社会に対し、責任ある行動をとるという考え方。



◆ 新たな公によるみどりづくり

公共空間のみどりについて利用者が主体の管理・運営の仕組みづくりを促進します。

泉佐野丘陵緑地では、利用者である府民や企業等の参画による運営協議会を設置し、公園の将来像と具体化方策を検討・実行していきます。「共生の森」づくりや岸和田市神於山をはじめとする自然環境保全活動などにおいても、府民・企業・NPO など多様な主体の参画による協議会等が主体となり、みどりの保全・創出を進めていきます。



◆ 府民協働による森、公園、道、川、海辺づくり

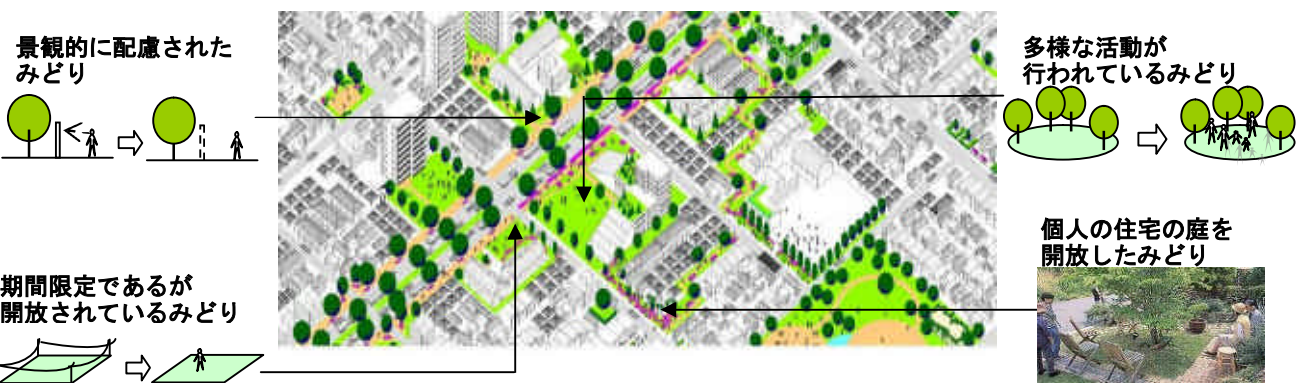
地域に愛される都市基盤施設づくりを進めるため、計画時から完成後の管理・運営に至るまで、ワークショップ方式などにより府民との協働を進めます。

府民、NPO、企業等による一定区間の清掃や花栽培など様々な活動を支援するアドプト・プログラムや公園での多様な活動を地域のみどりづくりに広げる「グリーンこらぼねっと」、森づくり委員会とサポート協議会による森づくり活動等を推進します。



◆ (仮称) グッドグリーンコミュニティ制度の検討

府が管理する公共空間やその周辺地域で行われる民間の質の高いみどりづくりを評価する制度について検討を進めます。地域交流の活性化や地域コミュニティの形成などに資するみどりとそこでの活動を評価の対象とします。



◆ みどりに関する寄附制度の拡充の検討

民間施設緑化や貴重な自然環境の保全などの事業に活用する「大阪府みどりの基金」について、企業の販売活動やイベント等とのタイアップの推進、税の優遇制度の活用などによる寄附活動の拡充を図るとともに、府民と寄附者にわかりやすい寄附制度の検討を進めます。



みどりの人づくり・組織づくり

◆ みどりに関する教育・啓発活動の推進

企業やNPO等と連携し、アドプト・フォレスト制度による「冒険の森づくり」や小学校区における「身近な生きもの調査」をはじめとする自然環境学習の場づくりとともに、「花と緑の相談所」等における情報提供などの体制づくりを進め、次世代を担う子どもたちをはじめとする府民のみどりに親しむ心を養います。

また、「おおさか山の日」「都市緑化フェア」をはじめ、あらゆる場面で啓発活動を推進し、府民全体でみどりづくりに取り組む機運を醸成します。



◆ ボランティアの育成

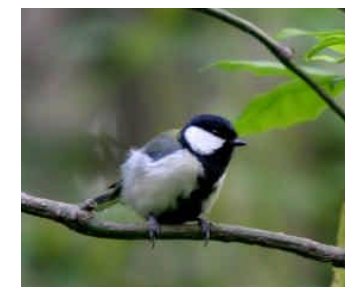
(財)大阪みどりのトラスト協会がこれまで果たしてきた自然環境や里山保全活動の実績やノウハウを活かし、ボランティアの組織づくり、技術指導、ボランティア団体やNPOとCSR活動とのマッチングなど、活動支援機能を充実させていきます。

また、府民の森や府営公園において、みどりの大切さを説明し、公園の円滑な管理運営を支える「パークレンジャー」活動を一層発展させていきます。



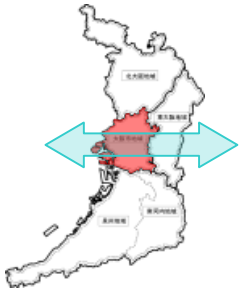
◆ 自然環境にかかる調査・研究の推進

都市における生物多様性や自然とのふれあいの場の確保、みどりの連続性の指標等とするため、生きものの生態をはじめ自然環境に関する調査・研究を市町村や府民、NPOなどと連携して進め、府民やNPOへの情報提供や、既往の都市計画や事業への反映などを検討していきます。



地域別のみどりの将来像

(1) 大阪市地域



海と山をつなぐみどりの風の軸の形成

骨格となるみどり

臨海部のみどり

- 優れた水際景観を形成する舞洲スポーツアイランドの保全、整備
- 海辺のレクリエーションの場としての臨港緑地の保全、整備
- 海辺の魅力を活かした緑地の保全、整備

主要道路（大阪中央環状線）を主軸としたみどり

- 大阪中央環状線の街路樹の育成と充実

主要河川（淀川、大和川）を主軸としたみどり

- 淀川、大和川の河川環境整備
- 淀川河川公園、大和川公園の保全、整備

大規模公園緑地を拠点としたみどり

- 住之江公園、住吉公園、鶴見緑地、長居公園、大阪城公園、天王寺公園、毛馬桜之宮公園等の都市公園の保全、整備

骨格に準ずるみどり

- 骨格に順ずる都市公園、大阪港周辺の水際景観を形成する港湾緑地の保全、整備
- 国道1号、国道2号、御堂筋等の街路樹の育成と充実
- 大川、安治川、神崎川、寝屋川等の河川環境整備
- 水都再生に向けたみどりの整備
- 今池水みらいセンター等の下水処理場の緑化

きめ細やかなみどり

- 民間開発に伴う公開空地、屋上緑化の導入によって良好で開放性の高い民有地緑化の促進
- 加賀屋特別緑地保全地区の屋敷林や、保存樹・保存樹林等の地域の貴重な自然の保全、整備
- 上町台地の恵まれた歴史・文化的環境を有する夕陽丘風致地区から聖天山風致地区にかけての自然環境の保全
- 水とみどりに親しみ、身近な生活に潤いをもたらす大川風致地区等の河川沿いの自然環境の保全
- 良好な都市環境に資する生産緑地地区の保全、市民農園や市民緑地等の整備
- 学校等の公共施設の緑化



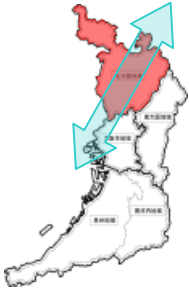
大阪中央環状線

凡 例

- 主要河川
- 大阪中央環状線
- 大規模公園（国営公園、府営公園及び万博公園）
- その他の主要な都市公園（概ね30ha以上）；（未整備のものを含む）
- （その他のみどりの拠点など）
- 構想段階の府営公園（具体的な位置を示すものではない）
- 公園緑地に準じる機能を持つ大阪府が管理する施設（大（概ね30ha以上）、小（概ね10ha以上）（未整備のものを含む）
- 中小河川
- 主要道路
- 鉄道（視点場としてのライン）
- 旧街道
- 自然歩道
- 臨海部
- きめ細やかなみどり
- 地域制緑地・農用地
- 地域制緑地・風致地区
- 地域制緑地・近郊保全緑地、保安林、自然公園
- 周辺山系・丘陵地
- 都市計画区域境界

泉天津美原線

(2) 北大阪地域



海と山をつなぐみどりの風の軸の形成

- 骨格となるみどり
- 骨格に準ずるみどり
- きめ細やかなみどり

周辺山系・丘陵地のみどり

- ・明治の森箕面国定公園、近郊緑地保全区域、農用地区域及び自然環境保全地域等を中心とした北摂山系の保全、整備と府立北摂自然公園、丘陵部の樹林地等の保全、整備
- ・北摂山系の山麓から丘陵部にかけての市街地からの景観に十分配慮した緑地の保全、整備

主要道路（大阪中央環状線）を主軸としたみどり

- ・大阪中央環状線の街路樹の育成と充実

主要河川（淀川、猪名川）を主軸としたみどり

- ・淀川、猪名川の河川の環境整備
- ・淀川河川公園、猪名川緑地の保全、整備

大規模公園緑地を拠点としたみどり

- ・彩都周辺及び能勢周辺における構想段階の府営公園の整備
- ・服部緑地、箕面公園、万博公園の保全、整備

・大阪国際空港周辺緑地、幹線道路沿道の緑地等の保全、整備

・千里中央公園、千里北公園、萩谷総合公園等の都市基幹公園、住区基幹公園の保全、整備

・神崎川、安威川、芥川等の河川の環境整備

・西国街道、能勢街道など旧街道周辺環境の保全、整備

・高槻水みらいセンター及び中央水みらいセンター等の下水処理場の緑化

・市街地の景観のアクセントとなる千里丘陵における東豊中風致地区等の風致の保全

・良好な都市環境に資する生産緑地地区の保全、市民農園や市民緑地等の整備

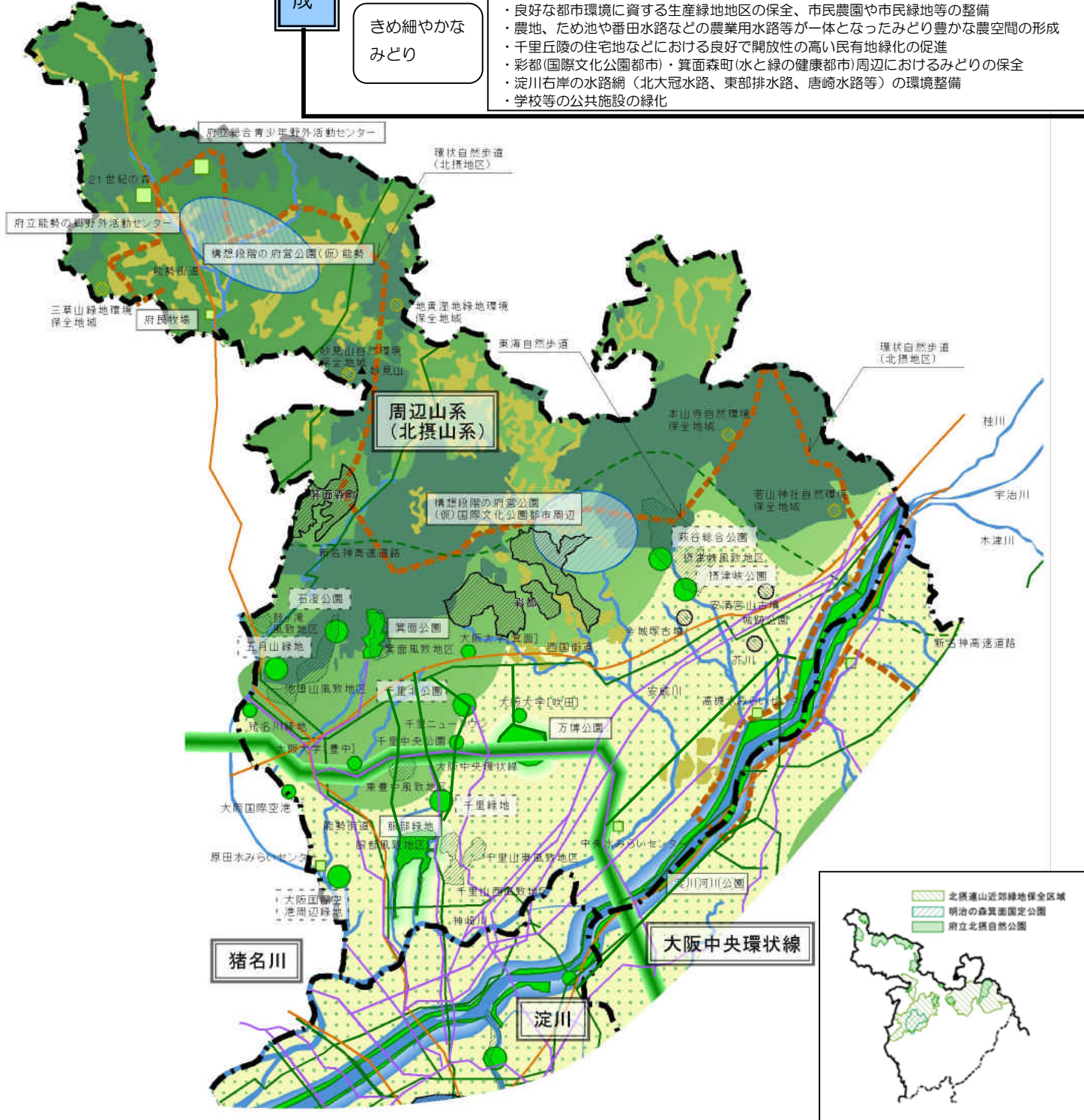
・農地、ため池や番田水路などの農業用水路等が一体となったみどり豊かな農空間の形成

・千里丘陵の住宅地などにおける良好で開放性の高い民有地緑化の促進

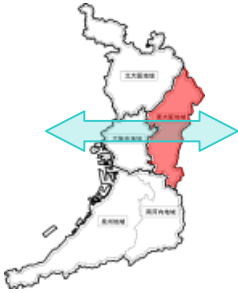
・彩都(国際文化公園都市)・箕面森町(水と緑の健康都市)周辺におけるみどりの保全

・淀川右岸の水路網(北大冠水路、東部排水路、唐崎水路等)の環境整備

・学校等の公共施設の緑化



(3)東大阪地域



海と山をつなぐみどりの風の軸の形成

骨格となる
みどり

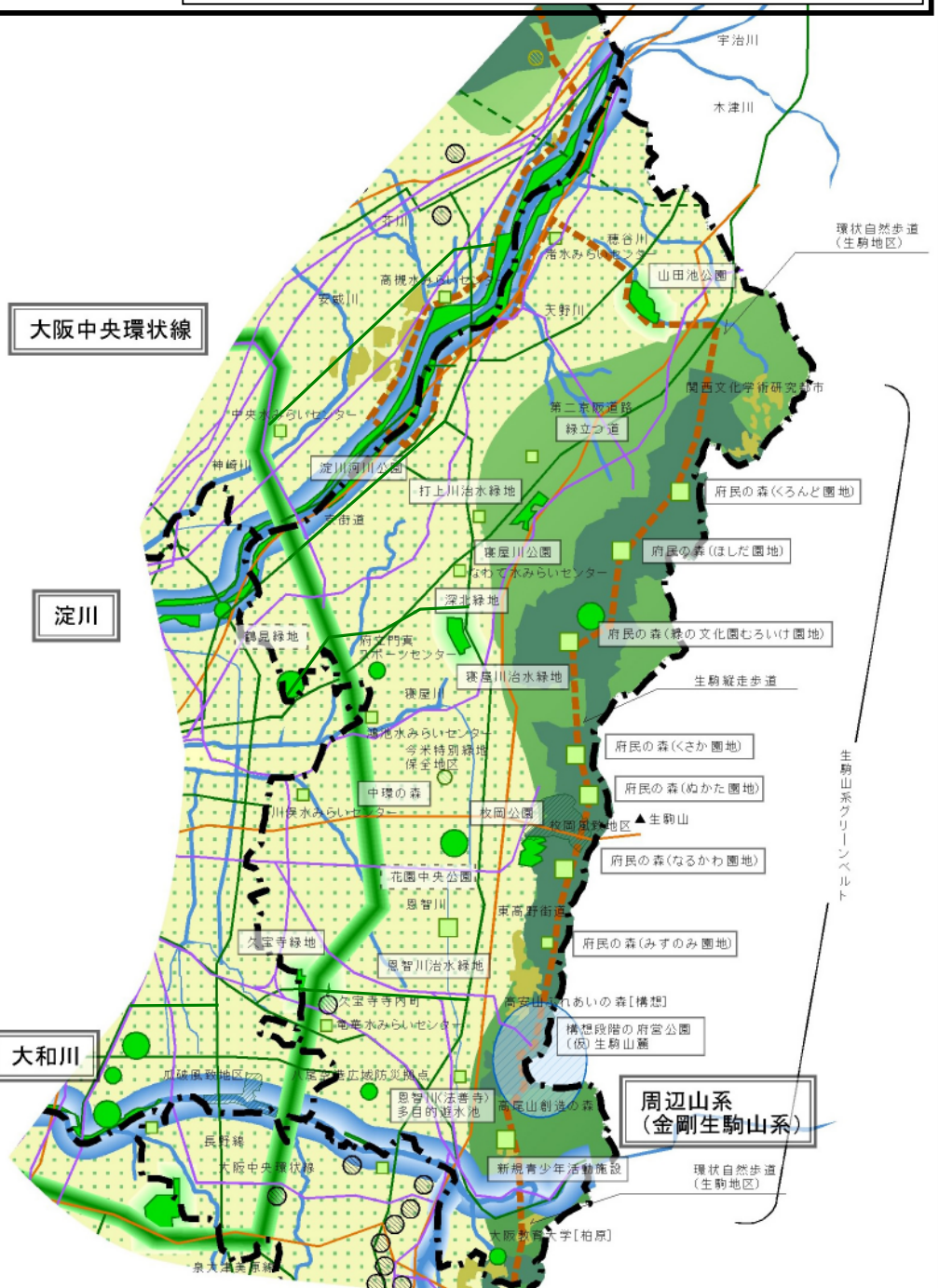
- 周辺山系・丘陵地のみどり**
- ・金剛生駒紀泉国定公園、府民の森、近郊緑地保全区域及び農用地区域を中心とした金剛生駒山系の保全、整備
 - ・生駒山系グリーンベルトの保全、整備
 - ・金剛生駒山系における市街地からの景観に十分配慮した緑地の保全、整備
- 主要道路（大阪中央環状線）を主軸としたみどり**
- ・大阪中央環状線の街路樹の育成と充実、中環の森づくりの推進
- 主要河川（淀川、大和川）を主軸としたみどり**
- ・淀川、大和川の環境整備
 - ・淀川河川公園の保全、整備

骨格に準ずる
みどり

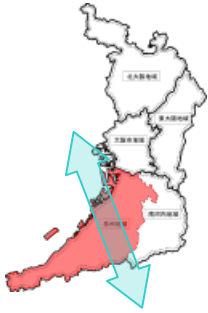
- 大規模公園緑地を拠点としたみどり**
- ・生駒山麓における構想段階の府営公園の整備
 - ・寝屋川公園、山田池公園、深北緑地、久宝寺緑地、枚岡公園、鶴見緑地の保全、整備
- ・花園中央公園等の都市基幹公園、住区基幹公園、幹線道路沿道の緑地等の保全、整備
 - ・寝屋川治水緑地、打上川治水緑地、恩智川治水緑地等の治水緑地の保全、整備
 - ・第二京阪道路やその他東西方向等の幹線道路等の街路樹の育成と充実
 - ・寝屋川、恩智川、穂谷川等の河川的环境整備
 - ・京街道、東高野街道などの旧街道周辺環境の保全、整備
 - ・鴻池水みらいセンター等の下水処理場の緑化

きめ細やかな
みどり

- ・今米特別緑地保全地区の屋敷林や神社、寺院の境内林等の地域の貴重な自然の保全、整備
- ・良好な都市環境に資する生産緑地地区の保全、市民農園や市民緑地等の整備
- ・農地、ため池や長瀬川等の農業用水路等が一体となったみどり豊かな農空間の形成
- ・中南部の工場や枚方丘陵の住宅地等における良好で開放性の高い民有地緑化の促進
- ・淀川左岸や中河内水路網（五箇水路、玉串川等）の環境整備
- ・学校等の公共施設の緑化



(5)泉州地域



海と山をつなぐみどりの風の軸の形成

骨格となる
みどり

- 周辺山系・丘陵地のみどり**
- ・金剛生駒紀泉国定公園、近郊緑地保全区域及び農用地区を中心とした和泉葛城山系の保全、整備
 - ・泉南西部地域における府立自然公園の指定の推進
 - ・和泉葛城山系の山麓から丘陵地にかけての市街地からの景観に十分配慮した緑地の保全、整備

- 臨海部のみどり**
- ・大阪臨海線等の街路樹の育成と充実
 - ・自然海浜保全地区、干潟、港湾緑地及び公共施設を活用した緑地の保全、整備

- 主要道路（大阪中央環状線）を主軸としたみどり**
- ・大阪中央環状線の街路樹の育成と充実

- 主要河川（大和川）を主軸としたみどり**
- ・大和川の環境整備

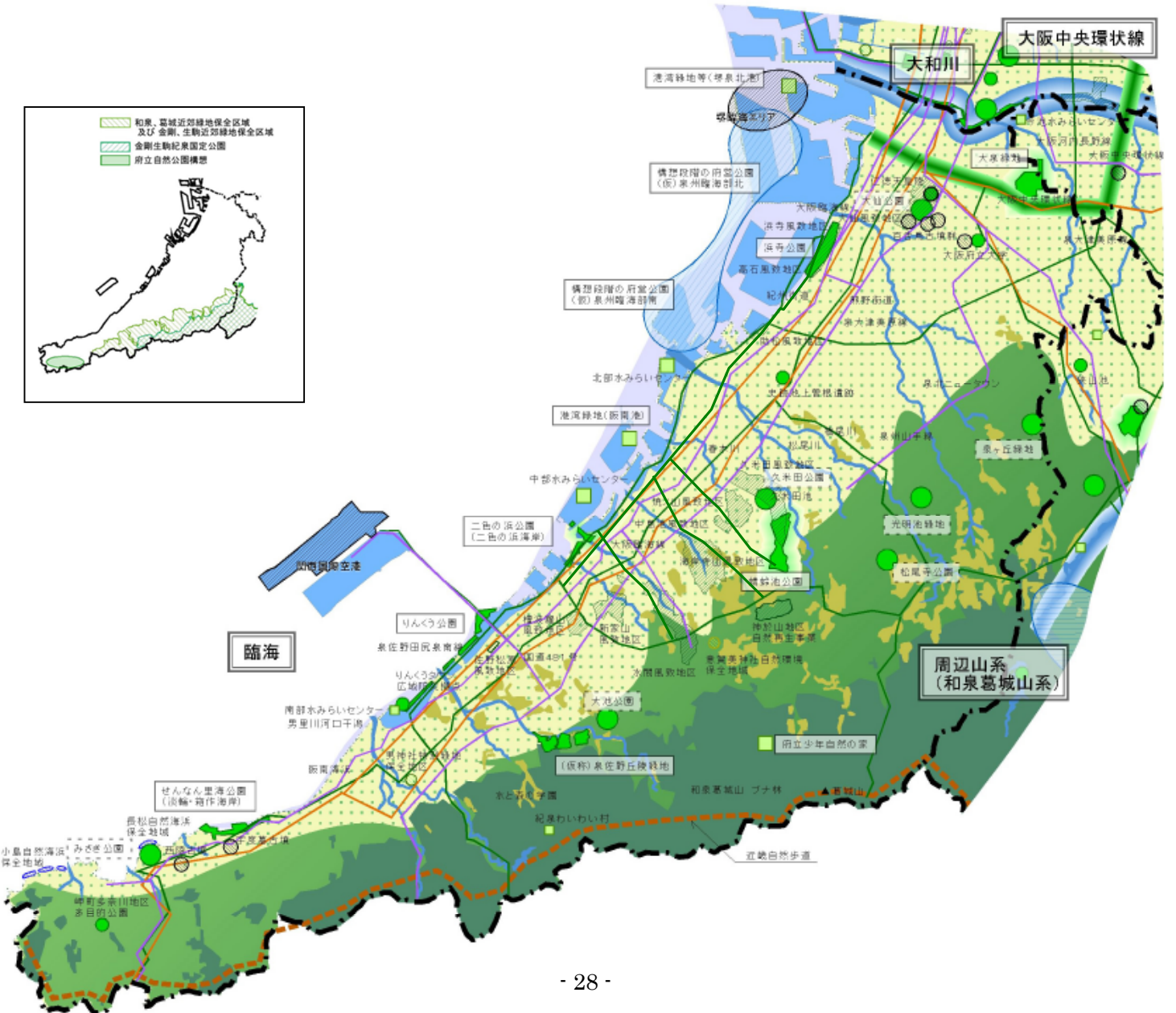
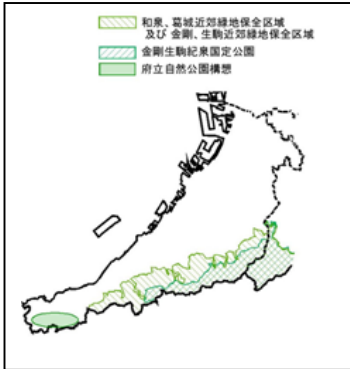
- 大規模公園緑地を拠点としたみどり**
- ・泉州臨海部北及び泉州臨海部南における構想段階の府営公園の整備
 - ・大泉緑地、浜寺公園、二色の浜公園、蜻蛉池公園、りんくう公園、せんなん里海公園、（仮称）泉佐野丘陵緑地等の保全、整備

骨格に準ずる
みどり

- ・府立少年自然の家、大規模古墳等の緑地等の保全、整備
- ・末広公園、大仙公園、松尾寺公園等の都市基幹公園、住区基幹公園、岬町多奈川地区多目的公園等の保全、整備
- ・紀州街道、熊野街道などの旧街道周辺環境の保全、整備
- ・泉大津美原線、泉州山手線等の街路樹の育成と充実
- ・松尾川、春木川、石津川等の河川の環境整備
- ・北部水みらいセンター等の下水処理場の緑化
- ・臨海部の大規模施設等の緑化

きめ細やかな
みどり

- ・男神社特別緑地保全地区や大仙風致地区等の神社、古墳等の歴史的資源と一体となった地域の貴重な自然の保全
- ・良好な都市環境に資する生産緑地地区の保全、市民農園や市民緑地等の整備
- ・農地や久米田池、光明池などのため池、水路等が一体となったみどり豊かな農空間の形成
- ・堺泉北港、阪南港などにおける親水性護岸の整備等の海岸線を活用した緑化空間の形成
- ・泉北・泉南丘陵地の住宅地等における良好で開放性の高い民有地緑化の促進
- ・泉州水路網やため池群の環境整備
- ・学校等の公共施設の緑化





推進計画事務局: 環境農林水産部みどり・都市環境室
都市整備部総合計画課、公園課

〒540-8570 大阪府中央区大手前2丁目 TEL 06(6941)0351
ホームページ <http://www.pref.osaka.jp/>